

「バーチャルハマスタ」第3弾、開催！ 持続可能なスポーツ・エンターテインメントのイベントモデルを目指す

株式会社横浜 DeNA ベイスターズ（本社：横浜市中区、代表取締役社長：岡村 信悟、以下 横浜 DeNA ベイスターズ）と KDDI 株式会社（本社：東京都千代田、代表取締役社長：高橋 誠、以下 KDDI）は、2021年3月30日に本拠地・横浜スタジアムで行われた本拠地開幕戦を対象に「バーチャルハマスタ」第3弾を開催しました。今回は、主に「エリア拡張」、「現地スタジアムのオープニングセレモニーとの連動演出」、「ファン参加型コンテンツ」を提供。今後もバーチャルハマスタの取り組みを通じ、リアルとバーチャルを連動させた新しいスポーツ観戦を提供し、どのような状況下でも持続可能なスポーツ・エンターテインメントを創出します。

■ファンおなじみのエリアがバーチャルハマスタに新登場！ゲストも驚きのクオリティに大興奮

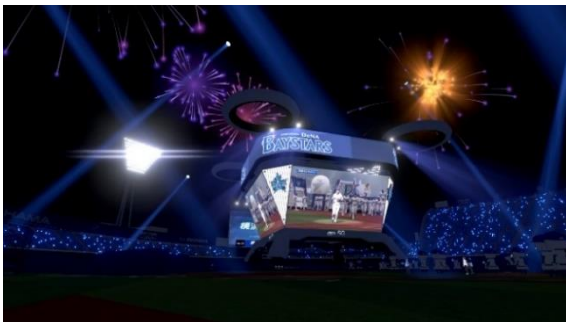
「バーチャルハマスタ」第3弾では、従来のエリアに加え、横浜公園ライト外周エリアを追加し、横浜公園内の「水の広場」「DREAM GATE」「BALLPARK BURGER & 9」など、ファンおなじみのスポットが新登場しました。試合開始前には、ゲストや球団 OB が新エリア内のステージでトークライブを実施。新エリアのリアルに近いヴィジュアルに驚きの声があがりました。



<バーチャルハマスタ新エリアの様子>

■2021年シーズン新・応援演出「YOKOHAMA CLAP」をバーチャル空間ならではの演出で体験

横浜スタジアムの現地で行われるオープニングセレモニーの演出と連動し、バーチャルハマスタ内のスタジアムでもバーチャル専用の演出で再現。ダンサーのアバターや球団マスコットの DB.スターマンがバーチャル空間に登場し、参加されたファンは、スタジアムの映像と同じタイミングでクラブアクションをして新しい応援演出である「YOKOHAMA CLAP」を楽しみました。



<バーチャルハマスタ空間内でのオープニングセレモニーの様子>



<YOKOHAMA CLAPの様子>



<スタジアム現地でのオープニングセレモニーの様子(©YDB)>

■ イニング間にはファン参加型コンテンツを開催！次世代型スポーツエンターテインメントを体感

試合中のイニング間では、ゲストや球団 OB とのクイズコーナー、スタージェット（風船）を飛ばす演出など、バーチャル空間ならではのコンテンツをお楽しみいただきました。参加されたファンのアバターの中には、バーチャルスタジアム内に登場したゲストのアバターと記念撮影をしている姿も見受けられ、それぞれの楽しみ方でバーチャルハマスタを満喫していました。



<クイズコーナー>

<「バーチャルハマスタ」概要>



バーチャル空間上にもうひとつの「横浜スタジアム」を構築し、ファンの皆さまはご自宅からスマートフォンやパソコン、VR デバイスを使って「バーチャルハマスタ」に会場できます。また、オリジナルのアバターを使って「バーチャルハマスタ」内を自由に動き回りながら、多くのファンと一緒に応援とコミュニケーションを行い球場の雰囲気を楽しめる次世代型のスポーツ観戦です。